



希望記事

・退職もあと数年になり、その後の自分の時間の過ごし方について、特に趣味もない自分にとってどうしたものかと自分探しのヒントになる実務の記事を希望します。

・退職後はボランティア活動をしたいが、現役中から始められることのアドバイスがほしい。

本誌120号(2015年1月)のCoverageでは「人生90年時代の生きがいづくり」をテーマにお届けしています。こちらの記事が一つの参考になると思います。ぜひご覧ください。

・近年の社会的傾向として、忙しい、頑張る、人との関わりがおっくう、などが蔓延し、家庭でも社会でもはたまた職場でもユーモアが少なくなっている。従って笑う機会も激減している。脳を働かせて笑うことが出来るようなコーナー、記事がすこしでもあると嬉しいです。

笑いのツボは人によって異なるため、ご希望されているような笑いの記事を提供できるかどうかわかりませんが、今後の企画をする際には、少し意識してみたいと思います。

・定年後に起業された方の声を聞きたい。

・第二の人生で別の道に進み、活躍されている先輩方の記事は励みになります。様々なジャンルの素敵なシニアをご紹介ください。

本誌ネクストステージのコーナーでは、定年退職後のさまざまな姿をご紹介します。

・退職後、年金生活をされている方の、課題、問題等の実際のところを教えてくださいたいと思います。

・退職後のリアルな生活状況：「現役中は仕事に追われていてできなかった長年の夢を実現しました」的な理想の老後生活特集ではなく、現実としてどうなのかを知りたい。経済面(現役時と比べてどれだけ外食費や遊興費を減らしたか)や家庭面(家事の負担割合や夫婦関係はどう変化したか)等、退職生活者たちのリアルな声を聞きたい。

何をもって実態とするかは難しいところだと思います。また、定年後に厳しい生活を送っていらっしゃる方はご登場を拒まれます。匿名でもご登場いただける方がいらっしゃればご紹介ください。

・「ゆう活」が導入されたことで、具体的にどんな効果があったのかをフラットな視点で取り上げていただきたいです。夕方の時間が有効に活用でき、ゆとりと消費の拡大につながったのか、保育時間や対外的な都合で効果的な制度になっていないのか、など…。

本誌で「ゆう活」について調査することはできませんが、「ゆう活をきっかけに新しいことを始めた」など経験談は掲載できると思っています。お心あたりの方は、本誌編集部までお寄せください。

・僕は、趣味と体調管理のため水泳をしていますので、スポーツで活力ある毎日を過ごされる方の声も、是非取り上げて下さい。

スポーツには体力づくりやストレス解消だけでなく、仲間づくりや生きがいづくりの効果もありますよね。スポーツを楽しまれている方の記事は、今後も本誌Hobby&Sportsのコーナーで取り上げていきたいと思えます。

その他ご意見

・表紙裏面のチャート「ライフプラン5つの分野」は、今読んでいるアルプス記事がどの分野なのかすぐ分かるので、とても良い企画です。それぞれの挿絵が5つの分野を的確にイメージさせるものだと、もっと良くなるのではないのでしょうか。

アイデアをありがとうございます。次回掲載時の参考にさせていただきます。

・「海外長期滞在」は、自分には関係ないと思っていましたが、家計簿やインタビュー記事が載っていて、こうした紹介を読むとやってみいかなと思えました。将来の夢として考えたら、生活に張りが出る…。退職後の海外中長期滞在について、公務員のなかでも高給取りの方々への記事と思われる。公務員全体をメインとした雑誌としては、このテーマがトップに来るのはどうかと思う。

・海外滞在に興味があり、ビザ条件が知りたかったところ、載っていた。だが、円安のおかげでマレーシアの年金金額条件が高くなってしまい諦め、タイにするかと思案中です。

・今回の記事は「海外移住は楽しい」という視点が大きかったように思えましたが、一方でリスクやマイナスイ面（多少は触れられていたが）にももう少し分量を割いたほうが良かったように思えました。

・「退職後の海外中長期滞在」はとても興味があり、良かったです。短期滞在（1〜6ヶ月くらいのイメージです）にも焦点をあてて、続編を掲載して頂きたいと思います。

賛否両論はあるでしょうが、退職後の一つの考え方としてお読みいただければと思います。

・私は20代ですが、「風を起さず」の山田崇さんの記事を見て、自分は今後ももっと頑張らなければならぬ！と強く考えさせられ、今後も行政に携わる者として、思ったこと・考えさせられたことが本当に多数ありました。今後においても、このような内容の記事を掲載していただきたいと強く思いました。

・まちづくりに一生涯命取り組んでいる地方公務員の特集はいいですね。今回の塩尻市の山田さんも若いのにすごいです。歳は関係ないと思いますので、自分にも何かできることはないかと意識して残り10年の公務員生活を充実させていきたいです。今後も元氣の「街づくり・町づくり」の特集をお願いします。

全国には地域や住民のために奮闘している地方公務員の方がたくさんいらっしゃいます。そのような方の姿を、少しでもお伝えしていければと思います。

・今回のEconomy 50代片働きの世帯のライフプランは、まさに今の自分にピッタリで、非常に参考になりました。

記事が、ご自身のライフプランを考えられるきっかけになれば幸いです。



通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をしていただいています。ここでは「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

- 1位…Economy
携帯電話・スマホ料金の改善テクニック 新田ヒカル
- 2位…Family
夫が変われば、夫婦関係は変わる 石蔵文信
- 3位…免疫力アップの食習慣
「冷房病」には逆転の発想で 石原結實